

主催 山形市市民活動支援センター連絡協議会

共催 山形市・山形市市民活動支援センター

第16回

やまがた市民活動まつり 実施報告書



日時 令和6年2月25日(日) 12時から15時

場所 霞城セントラル1階 アトリウム

第16回やまがた市民活動まつり開催にあたって

山形市市民活動支援センター連絡協議会は、2007年7月に市民活動支援センターの利用登録団体の有志が、団体間の交流促進と、施設の利便性の向上を図る目的で、自主的に結成した会です。

2009年2月から年1回、霞城セントラル1階アトリウムにて、山形市、山形市市民活動支援センターとの共催で「やまがた市民活動まつり」を開催してきました。市民活動の魅力をより多くの市民の方に知ってもらうと同時に、団体同士の活動の輪をつなげ広げていくことを目的とし、多様な分野の市民活動団体から、市民活動PRブース、ステージ発表、ポスター展示、スタンプラリーなどで参加いただけてきました。

しかし、2021年と2022年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、各団体は直接来場せず、ポスター展示と動画発表のみを実行委員会役員で運営する形で開催せざるを得ませんでした。2023年は、霞城セントラルアトリウムで、各市民団体が参加して対面で市民活動PRブースの発表を行いました。ステージ発表は動画発表で行わざるを得ませんでした。

今回のやまがた市民活動まつりでは、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類となったことを受けて、昨年に引き続き対面で市民活動PRブースを行う他に、4年ぶりに対面でのステージ発表とスタンプラリーが復活しました。久しぶりのステージ発表は大いに盛り上がり、スタンプラリーも好評でした。まつりを通して市民との交流や、参加団体同士の直接交流が活発に行われ、団体同士のコラボレーションにつながったケースもできました。

御参加いただいた市民の皆様、御協力いただきました市民ボランティア、関係各所へ深く感謝を申し上げます。「つなげよう 活動の輪」をテーマに、今後もやまがた市民活動まつりを続けていきたいと思っております。

第16回やまがた市民活動まつり実行委員長
山形市市民活動支援センター連絡協議会 会長
山形女性医師ネットワーク 会長
池田こずえ

第16回やまがた市民活動まつり 実施結果報告

1. 目的

「やまがた市民活動まつり」は、山形で活動する市民活動団体を多くの市民に知ってもらい、理解、協力、参加していただくという目的で開催しています。福祉、環境、子ども育成、まちづくりと多くの分野で活動する市民活動団体がありますが、私たちが暮らすこのやまがたを「暮らしやすいまちにしたい」という思いは一緒です。そのような思いを持つ市民活動団体が手をつなぎ、やまがたに住む人たちに多くの市民活動を知っていただくことで、今ある「地域の課題」をみんなが認識し、解決するための方策を考え、一緒に活動を始めるきっかけになって欲しいと願っております。

- 2. 開催日時 令和6年2月25日(日) 12時～15時
- 3. 開催場所 霞城セントラル1階アトリウム
- 4. 参加団体数 22団体

<実行委員会>

- | | | |
|--------|------------------|-------|
| ○実行委員長 | 山形女性医師ネットワーク | 池田こずえ |
| ○実行委員 | カジョウ・コミュニケーション | 吉田直行 |
| | NPO 法人環境ネットやまがた | 大場健一 |
| | NPO 法人山形県喫煙問題研究会 | 櫻井可奈子 |
| | パトラン山形 | 佐々木謙介 |
| | 山形市 | 西村貴博 |
| ○事務局 | 山形市市民活動支援センター | 吉田真由美 |

(敬称略・順不同)

<共催・後援・協力> (敬称略・順不同)

- (1) 共催：山形市、山形市市民活動支援センター
- (2) 後援：山形県
- (3) 協力：山形新都心開発株式会社(会場)、山形県産業科学館(備品)、山形県手話通訳問題研究会(手話通訳)、ボランティアの皆さん

<当日の様子>

今回は4年振りにステージ発表とスタンプラリーを行い、コロナ禍以来の完全版のまつりを開催することができました。昨年度に比べ参加団体も来場者も増え、活気のあるまつりとなったと思います。

参加いただいた方からも「ステージ発表があつて華やかだ」「とてもにぎわっていた」「盛り上がっていた」など今年度のまつりが良かったという意見が多くでました。

<団体紹介①：展示ブース部門 団体ごとに活動のPRを行いました>

来場された方に対し団体の皆さんが積極的に活動紹介をされていました。それぞれ工夫をこらしたブースとなっており、楽し気に話を聞いている様子が見られました。また、団体間でも沢山の交流がありました。山形市のお宝広報大使はながたベニちゃんも大活躍してくれました。

(順不同・敬称略)



山形市市民活動支援センター



山形県手話通訳問題研究会



山形女性医師ネットワーク



要約筆記表の会



認定NPO法人 モルヒネ友の会



山形市健康づくり運動普及推進協議会



NPO法人 山形県喫煙問題研究会



ごみ減量・もったいないねット山形



山形紙芝居研究会



ホスピスケアの会



NPO法人 山形自立支援創造事業舎
みちのく屋台こんにゃく道場



山形エスペラントクラブ



山形県自閉症協会山形支部



NPO法人 環境ネットやまがた



骨髄バンクを支援するやまがたの会



山形市市民活動支援センター連絡協議

〈団体紹介②：霞城セントラルアトリウムにてステージ発表を行いました〉（発表順・敬称略）

アトリウムのスクリーン前のスペースにて、団体ごとに発表をしていただきました。ダンス、紙芝居、民話、歌など様々な形で自団体をアピールくださいました。まつりでは久しぶりのステージ発表でしたが、人が集まり、会場が大いに盛り上がりました。



日本ダウン症協会山形県支部 J D S



NPO法人 山形県喫煙問題研究会



山形昔語りの会



骨髄バンクを支援するやまがたの会



山形市（公共交通課）

団体による発表に加え、山形市より出前講座として、2022年10月よりスタートした「山形市コミュニティサイクル事業」について説明いただきました。

これはスマホを使って簡単に電動自転車を借りる事ができるサービスです。

皆さん興味津々で最後の質疑応答の時間では多くの質問が寄せられました。

<今回も多くの方にご協力いただきました。>

山形県手話通訳問題研究会さんがオープニングからクロージングまで通訳をつけてくださり、障害のある方にもまつりを楽しんでもらえるように出来ました。長時間の通訳は大変だったと思います。本当にありがとうございました。

ボランティアの皆さんには、会場設営、ブース対応、ベニちゃん活動と補助、写真撮影等、様々なお手伝いをしていただきました。





左から東北文教大学2年、森谷彩加さん、服部浩菜乃さん、小川穂乃華さん、手塚敦子さんです。ご協力ありがとうございました。

<運営協力団体>

カジョウコミュニケーション、パトラン山形、NPO 法人山形の公益活動を応援する会・アミル

<スタンプラリー「話して なっ！得スタンプラリー」開催しました。>

例年ご好評をいただいているこの企画ですが、コロナ禍以降はなるべく接触を避ける為、お休みしていました。今回久しぶりに復活したわけですが、ステージ発表と同様、多くの人が集まりました。ブースを5か所回って、スタンプを集め、アンケートに答えると景品が貰えたのですが、皆さん楽しんで参加され、景品に喜んでる姿が見られました。



○スタンプラリーに協賛品を提供していただいた団体○ (合計 11 団体 敬称略・順不同)

山形県手話通訳問題研究会、山形女性医師ネットワーク、山形エスペラントクラブ、日本ダウン症協会山形県支部、山形市健康づくり運動普及推進協議会、認定 NPO 法人モルヒネ友の会、骨髄バンクを支援するやまがたの会、NPO 法人環境ネットやまがた、山形村山ネイチャーゲームの会、山形市、山形市市民活動支援センター

協賛品のご提供をいただきました団体の皆様、ありがとうございました。

〈交流会〉

まつりの片付け終了後、参加団体、ボランティアの皆さん、山形市市民活動支援センタースタッフで交流会を行いました。

まず、いくつかのグループに分かれ、自己紹介や普段の団体活動、まつりで感じた事などを話し合いました。その後全体でそれぞれのまつりの感想を共有しました。

団体間の交流もまつりの目的の一つですが、その目的に大いに貢献できる時間となったのではないのでしょうか。



〈第16回やまがた市民活動まつりを振り返って〉

今年は、新型コロナウイルスが落ち着き、ようやく市民活動を存分に行える状況になってきたのではないかと思います。コロナ禍の間は思うような活動が出来ず、大変だった団体も多かったようです。まつりに関しても展示や動画発表などの形式に変更せざるを得ませんでした。

市民の皆さんに直接団体の活動を紹介できる場は中々に貴重なのではないかと思います。これからも市民活動のつながりを広げるため、まつりを継続していきたいです。

山形市市民活動支援センター連絡協議会

〒990-8580 山形市城南町 1-1-1 霞城セントラル 22・23 階
山形市市民活動支援センター内

TEL 023-647-2260 Fax 023-647-2261